



報道関係者各位
プレスリリース

2026年1月9日

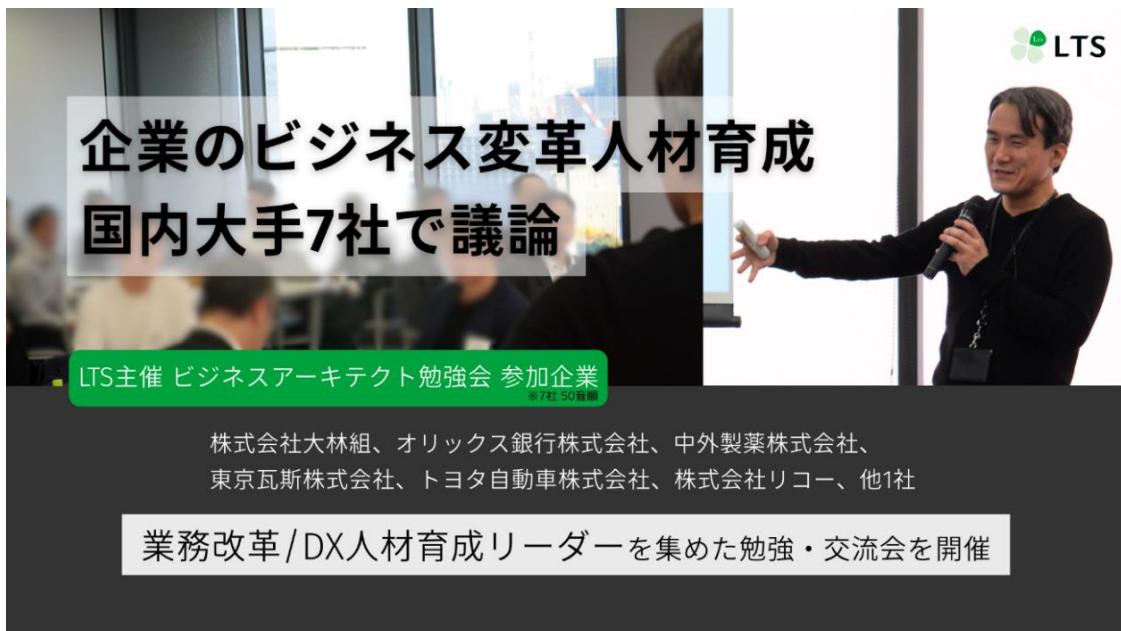
株式会社エル・ティー・エス

国内大手7社のデジタル変革人材リーダーが議論、ビジネスアーキテクト勉強会を開催しました（LTS主催）

～大林組・オリックス銀行・中外製薬・東京ガス・トヨタ自動車・リコー、他1社が参加～

株式会社エル・ティー・エス（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：樺島 弘明、以下 LTS）は、2025年12月にDXを成功に導く「ビジネスアーキテクト」をテーマに、講演・議論するイベントを開催しました。ビジネスアーキテクチャ・企業変革領域をリードする LTS 常務執行役員 CSO の山本政樹が全体進行と講師を務め、参加した国内大手各社の DX・企業変革および変革組織作りを担う横断機能の責任者・担当者が、意見・情報を交換する場となりました。

経営のデジタル化が進む欧米企業では当たり前の役割である「ビジネスアーキテクト」が、日本でも大手企業の一部で導入が始まっています。当日は、LTS が本取り組みをご支援している 7 社（株式会社大林組、オリックス銀行株式会社、中外製薬株式会社、東京瓦斯株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社リコー、他 1 社 五十音順）に参加いただき、議論を深めました。



■DX成功の要「ビジネスアーキテクト」とは

経済産業省が公開する「デジタルスキル標準（企業や個人が身につけるべきデジタル関連スキルを体系的に整理した指針、以下 DSS）」では、DX の成功には欠かせない中核人材として「ビジネスアーキテクト」が定義されており、ビジネス変革の最前線である米国では既に、全社的変革を設計し DX を成功に導く人材としての認識が社会に浸透しています。一方で、日本国内での認知度はまだ低く、人材人口も発展途上であり、日本企業の DX 施策がいまだに“システム導入”に留まり、本質的な企業変革・組織変革に至っていない要因の一つには、こうした人材の不足があります。

※関連プレスリリース：[LTS 山本政樹が主査を務めた経済産業省タスクフォースが「ビジネスアーキテクト」の人材定義を公開しました](#)

■イベント概要

第一回目の開催となる本イベントでは、「共に学び、共に未来を描く 次代を築くビジネスアーキテクト達」をコンセプトとして掲げ、先進的に変革組織を組成して「DX」「企業変革」に取り組んでいるお客様をお招きし、変革担当者同士の情報収集・交換、ネットワーキングの構築をしていただける場を設けました。



講演・グループワーク・懇親会の様子

第一部では、DSS 改訂における経済産業省のワーキンググループメンバーの一人である山本より変革人材の現状とこれからの最新動向をお伝えしました。第二部では、各社から参加いただいた皆様同士で、ビジネス変革をリードする人材の育成やキャリア、企業内での組織の組成やふるまい方について、実践知に基づく課題観などを踏まえ、意見・情報の交換をしていただきました。

ビジネスアーキテクト勉強会の第二回は大阪での開催を予定しております。弊社は引き続きこうした場を通じて、本格的に企業変革へ取り組むことの重要性を社会全体から理解してもらえるよう働きかけると共に、中長期的に日本企業のブランド力・競争力の底上げの寄与を目指して参ります。

※参考：[LTS コーポレートサイト サービスページ ビジネスアーキテクト変革人材育成](#)

■注釈

【株式会社エル・ティー・エスについて】

東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6560） U R L : <https://lt-s.jp/>

株式会社エル・ティー・エスは、デジタル時代のベストパートナーを目指し、お客様の変革実行能力を高めるためのコンサルティングを主軸としたプロフェッショナルサービスと、IT業界の企業や人材をつなぎ新しいビジネス機会を創出するプラットフォーム事業を運営しています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社エル・ティー・エス 広報担当 E-Mail : info@lt-s.jp